

2020年9月15日(火)

# プロパン新聞

## アポロガス クリアファイル回収活動展開 買い取り資金を教育支援に還元

アポロガス(福島市、相良元章社長)は、



回収箱。側面で枚数が分かる

福島県内の小

同活動は、

SDGs(持続可能な開発目標)の一環として、「クリアファイル回収チャレンジ!!」活動に取り組んでいる。

中高校の協力を得て、不要となったクリアファイルの回収箱を校内に設置。児童・生徒や保護者に不要になったクリアファイルを入れよう。回収が2000枚に達したら、同社が1枚5円(計1万円)で買い取る。学校が買い取りで得た資金は、PTA活動などの教育支援に充ててもらおう仕組み。

回収箱の設置は今年7月にスタート。現在5カ所に設置しており、買い取り額は合計3万円に達した(8月

末時点)。回収したクリアファイルは、程度の良いものは社内で再使用するほか、活動に賛同する企業に無償で配布する。再使用品以外は適切に廃棄処分し、近年問題視されているプラスチックごみによる環境汚染を防ぐ。

当初は社名やロゴマークが入ったオリジナルクリアファイルの製作を考えていた。相良社長は「プラスチックごみによる環境汚染に加担しかねないと若手社員から指摘を受け、方針を転換した」と話す。

同社は今後、回収箱の設置拡大を進める方針。2021年までに20カ所設置を目指している。